

# 子どもの生活実態調査 報告書

平成 21 年 1 月

## はじめに

本県では、平成13年3月に、県の青少年施策の指針として「あいちの青少年育成計画21」を策定し、青少年の健全な育成を図るため、長期的観点に立って総合的かつ計画的に各種施策を展開してきました。

しかし、昨今の青少年をめぐる状況は、いじめや不登校、ひきこもりなどが大きな社会問題になり、また、青少年に有害な情報の氾濫や青少年の深夜はいかいの増加など憂慮すべき状況が続いています。さらには、フリーターやニートと言われる若者の数が高水準で推移しており、若者の社会的自立の遅れが大きな問題となっています。

このような状況に的確に対応するために、本県では新たな青少年育成計画を平成21年度末までに策定することにしてはいますが、この策定に先立ち昨年5月に、学識経験者、NPO関係者などから成る「青少年の自立支援策に関する検討会」（以下「検討会」という。）を設置し、ニートやひきこもりなど自立に困難を抱える青少年への支援策について検討しています。

今回の「子どもの生活実態調査」は、将来の社会的自立に向けた基礎を形成する時期にある子どもたちについて、家庭や学校、地域などでの生活実態や意識を把握することにより、検討会の報告書作成及び今後の施策立案の参考とするため実施したのですが、この調査結果を、青少年育成を担当されている関係者を始め多くの皆様に利用していただければ誠に幸いです。

なお、調査の企画、とりまとめにあたっては、検討会の委員の皆様にご尽力をいただきました。

終わりに、この調査にご協力いただきました県内の関係小学校・中学校の皆様にご厚くお礼申し上げます。

平成21年1月

愛知県県民生活部長 石川延幸

## 目次

I. 調査目的・方法	1
II. 調査結果の概要	3
III. 調査結果	7
1. 子どもの属性	7
2. 家族・家庭環境	9
3. 家族との関係・家庭での生活	
(1) 家庭での会話の内容	11
(2) 父母は話を聞いてくれるか	12
(3) 家のことで困っていることや嫌なこと	13
(4) 塾や習い事の日数	16
(5) 就寝時間	17
(6) 朝食の摂取	20
(7) 毎日の生活の忙しさ	21
(8) インターネットの利用	22
(9) 放課後や休日に一緒に遊ぶ友達	25
4. 学校生活	
(1) 部（クラブ）活動	26
(2) 学校に行きたくないと思ったこと	28
(3) 学校に行けた理由	31
5. 悩み	
(1) 悩み事や心配事	33
(2) 相談相手	34
6. 地域との関係	
(1) 近所のおとなとの関係	37
(2) 地域で参加してみたい活動	40
7. 将来への意識	
(1) 夢やいきがい	42
(2) つきたい職業	46
(3) 将来の明るさ	48
8. 心身の健康状態	
(1) QOL尺度による得点	50
(2) 心身の健康（QOL得点）と睡眠	54
(3) 心身の健康（QOL得点）と朝食	55
(4) 心身の健康（QOL得点）と毎日の生活の忙しさ	56
(5) 心身の健康（QOL得点）と話を聞いてもらえるかどうか	57

(6) 心身の健康（ＱＯＬ得点）と家族で付き合いのある人の有無	58
(7) イライラや集中力	59
9. 不登校意識に関連する要因	
(1) 不登校意識群のＱＯＬ得点	63
(2) 不登校意識群のイライラや集中力	66
(3) 不登校意識群と睡眠	68
(4) 不登校意識群と朝食	70
(5) 不登校意識群と家族関係	71
(6) 不登校意識群と友達関係	74
(7) 不登校意識群と部活動の楽しさ	76
(8) 不登校意識群と悩みの有無	77
(9) 不登校意識群と将来への意識	78
(10) 不登校意識群と地域との関係	80
10. 地域に望むこと	81
11. 自由記述	83

#### IV. 資料

調査票	85
-----	----